

《報告》

海浜で観察された数種類の節足動物の捕食行動

松田真紀子

豊田ホタルの里ミュージアム・サポーター会員, 〒750-0441 山口県下関市豊田町大字中村 50-3

はじめに

これまで下関市内の海浜生物を調査し, 松田・川野 (2012, 2014a, 2014b) や松田 (2016, 2018a, 2018b) で報告してきたが, その過程でわずかではあるが海浜性の節足動物の捕食行動を観察することができた。そこで, 以下に捕食行動を観察できた種毎に捕食行動と被食されていた生物を記載しておく。

鋏角亜門 Subphylum CHELICERATA

クモ綱 Class Arachnida

ダニ目 Order Acari

テングダニ科の一種 Bdeliidae gen. sp. (図 1-1)

被食生物: 双翅類

捕食状況: 山陽小野田市本山岬の海岸で 2017 年 3 月 10 日に双翅類を捕食していたのを観察した。観察した時間は 13 時 22 分で, 岩礁の飛沫帯, 窪みの中で捕食していた。

ハモリダニ科の一種 Anystidae gen. sp. (図 1-2)

被食生物: ウラナミシジミ *Lampides boeticus* (Linnaeus, 1767) の卵

捕食状況: 下関市吉母海岸で 2016 年 10 月 20 日にウラナミシジミの卵を捕食しているのを観察した。観察した時間は 14 時 19 分で, レキ浜に生育していたハマエンドウの葉裏や蕾に, ウラナミシジミが複数回産卵に訪れた。ハモリダニ科の一種は産卵された直後の卵を捕食していた。

ザトウムシ目 Order Opiliones

ヒトハリザトウムシ *Psathyropus tenuipes* L. Koch, 1878 (図 1-3)

被食生物: ヒゲナガハマトビムシ *Trinorchestia trinitatis* (Derzhavin, 1937)

捕食状況: 下関市豊北町角島大浜海岸で 2017 年 6 月 27 日 14 時頃にヒゲナガハマトビムシを砂浜の飛沫帯に生育していたツルナの葉上で捕食していたのを観察した。

カニムシ目 Order Pseudoscorpiones

コイツカニムシ *Nipponogarypus enoshimaensis enoshimaensis* Morikawa, 1955 (図 1-4)

被食生物: 不明

捕食状況: 下関市垢田海岸で 2017 年 6 月 28 日 14 時頃, 岩礁の窪みの中で捕食していた。被食されていたのは, 翅の状態から双翅目昆虫のように見えたが判然としなかったが, コイツカニムシより一回り大きかった。

クモ目 Order Araneae

カニグモ属の一種 *Xysticus* sp. (ヨコフカニグモ *Xysticus transversomaculatus* Bosenberg & Strand 1906?) (図 1-5)

被食生物: コカスリウスバカゲロウ *Distoleon contubernalis* (McLachlan, 1875) の若齢幼虫

捕食状況：下関市豊北町土井ヶ浜で2016年11月3日にコカスリウスバカゲロウの若齢幼虫を捕食していたのを観察した。観察した時間は15時44分で、海浜植生帯の砂上にて捕食していた。

ヤマジハエトリ *Asianellus festivus* (L. Koch, 1834) (図 1-6)

被食生物：イソカナタタキ *Ornebius bimaculatus* (shiraki, 1930)

捕食状況：下関市豊北町角島大浜海岸で2017年9月13日にイソカナタタキを捕食していたのを観察した。観察した時間は15時31分で、海浜植生帯の木片の上で捕食していた。

多足亜門 Subphylum MYRIAPODA

ムカデ綱 Class Chilopoda

ジムカデ目 Order Geophilomorpha

ベニジムカデ属の一種 *Strigamia* sp. (図 1-7)

被食生物：アオキツツムネウミハネカクシ *Dialouta aokii* Sawada, 1971

捕食状況：下関市長府三軒屋海岸で2015年5月7日にアオキツツムネウミハネカクシを捕食していたのを観察した。観察した時間は15時24分で、岩礁の潮間帯で捕食していた。被食されていたアオキツツムネウミハネカクシはジムカデの口器によって何度も咀嚼されたのち遺棄された。

シマジムカデ属の一種 *Nesogeophilus* sp. (図 1-8)

被食生物：カメムシ科一種 Pentatomidae gen. sp.

捕食状況：下関市長府三軒屋海岸で2018年4月23日にカメムシの一種を捕食していたのを観察した。観察した時間は、15時40分で、砂浜の波打ち際に海藻などと一緒に打ち上がったカメムシの死骸に何匹ものジムカデが群がり捕食していた。被食されていたカメムシは外骨格を残してほぼ空洞になっており、その中に何匹ものジムカデ属の一種が入り込み捕食していた。

六脚亜門 Subphylum HEXAPODA

外顎綱 Class Ectognatha

脈翅目 Order Neuroptera

ハマバウスバカゲロウ *Myrmeleon solers* Walker, 1853 (図 1-9)

被食生物：双翅類

捕食状況：下関市豊北町角島大浜海岸で2018年11月1日に双翅類を捕食していたのを観察した。観察した時間は15時47分で、砂丘の斜面で双翅類の体が半分砂に埋まっているのを見つけ、掘り出して見たところハマバウスバカゲロウの幼虫がこれを捕食していた。

甲虫目 Order Coleoptera

ハマヒョウタンゴミムシ *Idisia ornata* Pascoe, 1866 (図 1-10)

被食生物：双翅類

捕食状況：下関市豊北町角島大浜海岸で2017年4月19日に双翅類の頭部と思われるものを捕食していたのを観察した。観察した時間は15時頃で、海浜植生帯に打ち上がった流木の下で捕食していた。被食されていた双翅類の頭部と思われるものは、外皮を残し中はほぼ空洞になっており、その空洞に頭部を突っ込む形で中身を捕食していた。



図1. 捕食行動を観察した生物 (1)

1. テングダニ科の一種； 2. ハモリダニ科の一種； 3. ヒトハリザトウムシ； 4. コイツカニムシ； 5. カニグモ属の一種； 6. ヤマジハエトリ； 7. ベニジムカデ属の一種； 8. シマジムカデ属の一種； 9. ハマベウスバカゲロウ； 10. ハマヒョウタンゴミムシダマシ。



図1. 捕食行動を観察した生物 (2)

11. ハマヒョウタンゴミムシダマシ； 12-13. ヒョウタンゴミムシ； 14. ツヤケシアカバウミベハネカクシ.

ハマヒョウタンゴミムシダマシ *Idisia ornata* Pascoe, 1866 (図 1-11)

被食生物：昆虫類の幼虫

捕食状況：下関市長府三軒屋海岸で2015年4月24日に昆虫類と思われる幼虫を捕食していたのを観察した。観察した時間は17時40分頃で、海浜植生帯の落葉の陰で捕食していた。被食されていた幼虫は外皮を残し中はほぼ空洞になっており、その空洞に頭部を突っ込む形で中身を捕食していた。

ヒョウタンゴミムシ *Scarites aterrimus* Morawitz, 1863 (図 1-12, 13)

被食生物：ハマトビムシ科の一種 *Talitridae* gen sp.

捕食状況：大分県中津市の三百間浜で2018年5月20日にハマトビムシ科の一種を捕食していたのを観察した。観察した時間は14時頃で、砂浜に漂着した流木の下で捕食していた。被食されていたハマトビムシ科の一種は、大顎で挟まれ固定された状態で捕食されており、まだ死んで間もない様に見えた。

ツヤケシアカバウミベハネカクシ *Phucobius simulator* Sharp, 1874 (図 1-14)

被食生物：ハマトビムシ科の一種 *Talitridae* gen sp.

捕食状況：下関市彦島迫町の海岸で2016年10月10日に、ハマトビムシ科の一種を捕食していたのを観察した。観察した時間は10時頃で、砂浜の波打ち際近くに打ち上がった流木の下で、ハマトビムシ科の一種を抱え込むようにして捕食していた。被食されていたハマトビムシ科の一種はツヤケシアカバウミベハネカクシより一回り小さく、胸部背面には、かじられたと思われる捕食痕があった。

謝 辞

本稿を作成するにあたり、捕食生物の同定に関してご教示いただいた林 成多氏（ホシザキグリーン財団）、須黒達巳氏（慶応義塾幼稚舎）、塚本 将氏（首都大学東京）に対して御礼申し上げます。

引用文献

- 松田真紀子・川野敬介（2012）下関市三軒屋海岸で採集した甲虫類. 豊田ホテルの里ミュージアム研究報告書, (4): 49–53.
- 松田真紀子・川野敬介（2014a）下関市のイソジョウカイモドキの生態と分布. 豊田ホテルの里ミュージアム研究報告書, (6): 113–117.
- 松田真紀子・川野敬介（2014b）下関市三軒屋海岸の生物3種. 豊田ホテルの里ミュージアム研究報告書, (6): 131–132.
- 松田真紀子（2016）下関市の海岸で得られたゴミムシダマシ科の記録. 豊田ホテルの里ミュージアム研究報告書, (8): 203–204.
- 松田真紀子（2018a）下関市の海岸性節足動物の分布と生態. 豊田ホテルの里ミュージアム研究報告書, (10): 131–144.
- 松田真紀子（2018b）下関市のセスジダルマガムシ属の一種の生態. 豊田ホテルの里ミュージアム研究報告書, (10): 145–154.